
GlobalDoc5 1.00R08.10

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2007 年 12 月 13 日

製品情報

=====

バージョン : Ver.1.00R08.10

=== 変更内容 ===

=====

機能拡張

=====

■Web アプリケーション

- ・ セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、文書一覧からエクスポートを実施した場合、文書情報と全キーワードを 1 行でエクスポートできるようになりました。
- ・ 文書参照画面の表示速度を向上させました。
- ・ クライアントにインストールされた ActiveX よりサーバー側に配置された ActiveX のバージョンが新しい場合、文書編集画面で ActiveX のバージョンアップを促すメッセージが表示されるようになりました。
- ・ アプリケーションログに、フォルダーの複写でエラーとなった操作原因が出力されるようになりました。

■サーバーツール

- ・ 以下のサーバーツールで登録者名称、更新者名称、最終アクセス者名称の移行に対応しました。
 - ・ 移行データ出力ツール(gf_export_doc)
 - ・ 移行データ設定ツール(gf_import_doc)
- ・ 不要文書削除ツールに、指定日以前の文書を削除するオプションを追加しました。

□仕様変更

■Web アプリケーション

- セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、文書・フォルダー・シンプルタスクのセキュリティー一覧の表示順を変更しました。
- 文書参照画面、文書編集画面のボタン名を「削除」から「文書削除」に変更しました。
- 文書参照画面のボタン名を「更新へ」から「更新画面へ」に変更しました。
- フォルダー情報表示の「i」アイコンにマウスポインターを合わせたときに表示されるツールチップの内容を、「情報表示」から「情報表示/更新」に変更しました。
- 文書の URL 表示を切り替えるアイコンを変更しました。
- 簡易検索画面で、データベースのタイムアウトが発生した場合のエラーメッセージを変更しました。
- 文書の本文表示と、添付ファイル表示の ActiveX を分割しました。各 ActiveX は、新規の ActiveX としてインストールされます。
- [文書削除]ボタンをクリックした場合に表示されるポップアップメッセージの内容を変更しました。
- 保存合計サイズに「上位の設定を使用する」の設定がされたフォルダーを移動する場合、移動元保存合計サイズが移動先保存合計サイズより大きい場合でも移動できるように変更しました。
- 文書の移動時に、「最終更新日時」、「最終更新ユーザー」を移動時の情報で更新しないように変更しました。
- 編集画面を閉じるときに、「編集中の内容が破棄されてしまいますが、よろしいですか？」のメッセージを必ず表示するように変更しました。
- フォルダー管理画面で[更新]ボタンをクリック後、画面を閉じるように変更しました。

■サーバーツール

- ・ 履歴出力ツールで、出力ファイルの日付フォーマットを「yyyy/MM/dd hh:mm:ss (EE)」に変更しました。

不具合修正

■Web アプリケーション

- ・ セキュリティマスター・キーワードマスターを利用しない環境で、文書の更新を行うと、文書セキュリティが正しく反映されない場合がある不具合を修正しました。
- ・ 承認文書の承認履歴が表示されない不具合を修正しました。
- ・ 承認文書の登録履歴で、「操作認証 ID」に「操作ユーザー名称」が表示される不具合を修正しました。
- ・ 文書更新時にファイルを添付すると、添付ファイルのサイズが 0(ゼロ)バイトとなり、空の添付ファイルとして更新される場合がある不具合を修正しました。
- ・ 未読文書を参照した場合に、キーワードが表示されない不具合を修正しました。
- ・ システム管理者がフォルダー管理画面を開くと、[削除]ボタンが表示されない場合がある不具合を修正しました。
- ・ システム管理者が文書の移動を行った場合、移動元で選択した文書のチェックが、すべて解除される不具合を修正しました。
- ・ フォルダー配下にプライベート文書がある場合、フォルダー移動ができない不具合を修正しました。
- ・ フォルダー移動で、正常終了のメールが届いているのに、フォルダーが移動されていない場合がある不具合を修正しました。
- ・ 複数の文書を移動すると、1番目の文書しか移動されない場合がある不具合を修正しました。
- ・ 使用言語が英語ユーザーで文書の履歴をダウンロードする場合、JavaScript エラーとなる不具合を修正しました。

- セキュリティマスターを利用しない環境で、文書のセキュリティを追加する場合、セキュリティ編集画面で「設定時に画面を閉じない」にチェックをつけていても、[ユーザー設定]ボタンのクリックによってチェックが消える不具合を修正しました。
- セキュリティマスターを利用しない環境で、文書のセキュリティを追加する場合、セキュリティ編集画面で「設定時に画面と閉じない」にチェック入れ、続けてユーザー設定をすると、テキスト入力項目で、[Delete]キー、[Backspace]キー、矢印キー、[Tab]キーが効かなくなる不具合を修正しました。
- ワークフロー文書を複写すると、印影が表示されない場合がある不具合を修正しました。
- 承認待ち文書を開く場合、メモリを大量に使用する場合がある不具合を修正しました。
- 移動先フォルダーに、自フォルダーが指定できる不具合を修正しました。
- Global4 から移行した文書を複写し、Global4 文書 URL を使用して文書を参照すると、移行先で複写した文書が参照される場合がある不具合を修正しました。
- セキュリティマスターを利用しない環境で、フォーム文書の設定が「文書情報タブを表示しない」になっている場合、登録・更新画面が表示されない不具合を修正しました。
- Global4 でコピーした添付ファイルへの URL を使用して、Global4 から移行した文書の添付ファイルが参照できない不具合を修正しました。
- 環境設定画面で「ごみ箱一覧の表示データをユーザーが削除したものに制限」に設定した場合、他の人が削除したものを URL から参照できる不具合を修正しました。
- 機密文書管理機能を利用して、「DocSAFER サーバーの暗号化対象拡張子」の「BMP」、「JPG」、「PNG」、「PCX」、「TIF」のチェックを外している場合、添付ファイルをダウンロードすると、「SCG」でダウンロードされる不具合を修正しました。
- システム履歴に出力される移動先パスが不正になる場合がある不具合を修正しました。
- フォルダーや文書を移動・複写しても、移動・複写が実行されない場合がある不具合を修正しました。
- フォルダーのバックアップ階層を大きな値に変更した場合、配下の文書の更新に失敗する場合がある不具合を修正しました。

■サーバーツール

- 移行データ出力ツール(gf_export_doc)で、一覧表示期間の設定が OFF の場合に、一覧表示期間が出力される不具合を修正しました。
 - 移行データ設定ツール(gf_import_doc)で、登録者名称、更新者名称、最終アクセス者名称が空白の場合に、エラーログが出力される不具合を修正しました。
 - 不要文書削除ツールで、ゴミ箱内の期限切れ文書が削除されない不具合を修正しました。
 - 移行データ設定ツールで移行したフォルダーを開いたとき、「1次2次のソート項目が同じ場合、順序も一致させる必要があります。」のエラーが発生する場合がある不具合を修正しました。
 - 移行データ設定ツールで移行した文書を一覧表示させたとき、添付ファイル項目に添付ファイル名が表示されるのに、文書を開くと、添付ファイルがない場合がある不具合を修正しました。
-